

2018年11月28日 Dグループ

大内裕和 『ブラックバイトに騙されるな!』集英社 2016年

質疑応答

A: D班がこの本を通じて特に共感できると思った部分はどこか。

T→レストランのバイトで急な出勤を頼まれたことがある。

K→友達がアパレルのバイトをしていて自社製品を買わされるので、好きなことにあまり給料を使えないという話を聞いたことがある。

S→TSUTAYAのバイトで、仕事が時間内に終わらず持ち帰って仕事をすることがある。

Y→塾でのバイトで元々シフトが固定制で、さらに教室長以外は全員学生なのでテスト前などにシフトを変更できない。

B: 大学でアルバイトの労働条件や職場のあり方を話し合う場が必要(8章)とあるが、高校生や大学に入学する前にバイトを始める人がそういったことを知るにはどうすればよいか。

→高校などでブラックバイトの危険性に関する出前授業などを行うことで、バイトする前に知識を身につけることができる。

C: ブラックバイトをなくす方法について、経済状況の改善以外に何かあるか。

→職場に正社員を増やすことで、責任の重い「基幹労働」をアルバイトにさせない。また、個人個人が労働法などの知識を持つことでブラックバイトに対処することができる。